

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

アイフル株式会社（証券コード:8515）

【変更】

長期発行体格付	BBB	→	BBB+
格付の見通し	安定的	→	ポジティブ
債券格付	BBB	→	BBB+

■格付事由

- (1) アイフルは、消費者金融大手の一角。ローン事業を主力にクレジット事業、保証事業、海外事業などを展開している。無担保ローンにおける市場地位・競争力が一段と高まっている。新規申込が好調であり、営業貸付金残高が伸長している。かつてに比べて利息返還金リスクが大きく低下しており、収益力および資本充実度は BBB レンジとして十分な水準にある。取引金融機関の増加などを通じて、資金調達の安定性も高まっている。以上を踏まえ、長期発行体格付を「BBB+」に引き上げた。ローン事業の残高成長に加えて、クレジット事業や保証事業などの周辺事業による収益源の多様化が進みつつあることなどから、格付の見通しを「ポジティブ」とした。事業基盤をより強固なものとし、収益力を一段と高められるか見極め、格付に反映させていく。
- (2) ローン事業では、無担保ローンにおける市場地位・競争力が一層向上している。デジタル化・内製化を通じて、非対面チャネルの利便性、広告宣伝やオペレーションの効率性を高めている。新規申込数は大手他社を上回っており、営業貸付金残高の成長率も高い。コロナ禍で低迷していた資金需要も回復に向かいつつあり、今後も営業貸付金の残高拡大が続くとみている。周辺事業による収益源の多様化も進みつつある。クレジット事業ではカードショッピング取扱高が拡大しており、保証事業においても保証残高が大きく伸びている。
- (3) 収益力は大幅に改善しており、格付に十分見合っている。業容拡大に伴い営業収益が増加しており、償却引当金の基礎的な利益の水準が高まっている。利息返還請求は減少傾向が続いており、利息返還金の負担は低減している。広告宣伝費を積極的に投下する中でも、基礎的な利益によって一定の貸倒関連費用や利息返還関連費用などを吸収する余裕度を維持できると JCR はみている。ローン事業の残高成長と周辺事業による収益源の多様化を通じて、収益の安定性と基礎的な利益の水準をより高められるか注目していく。
- (4) 資産の健全性は確保されている。不良債権比率は上昇傾向にあるが、債務整理などを行ったうえで入金が継続されている貸出条件緩和債権の増加が中心であり、資産の質が急激に悪化する懸念は小さい。貸倒償却率は過年度でみて低位にある。新規顧客が増える中でも資産の質を維持できるか今後の動向を見守っていく。資本充実度は格付に十分見合う。利益蓄積が進み資本水準は向上している。今後の営業資産の拡大を踏まえても、JCR 調整後の自己資本比率やリスク対比の資本の余裕度は十分な水準を確保できると想定している。流動性に対する懸念は小さい。メイン・準メイン行と良好な関係を維持しているうえ、取引金融機関が拡大しており、資金調達基盤の厚みが増している。社債発行、債権流動化などを通じた調達の多様化も進んでいる。

（担当）坂井 英和・浅田 健太

■格付対象

発行体：アイフル株式会社

【変更】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	BBB+	ポジティブ

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第 63 回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）	200 億円	2021 年 6 月 10 日	2022 年 12 月 9 日	0.930%	BBB+
第 64 回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）	300 億円	2022 年 6 月 15 日	2024 年 6 月 14 日	0.970%	BBB+

格付提供方針等に基づくその他開示事項

- 信用格付を付与した年月日：2022 年 11 月 18 日
- 信用格付の付与について代表して責任を有する者：宮尾 知浩
主任格付アナリスト：坂井 英和
- 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCR のホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014 年 1 月 6 日）として掲載している。
- 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCR のホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2014 年 11 月 7 日）、「消費者金融」（2022 年 6 月 21 日）として掲載している。
- 格付関係者：
（発行体・債務者等） アイフル株式会社
- 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
- 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・格付関係者が提供した監査済財務諸表
・格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
- 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
- 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
- JCR に対して直近 1 年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っており、JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ（<https://www.jcr.co.jp/en/>）に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第 1 号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル